

学校評価

(1) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	規範意識を備えると同時に、学力を向上させ進路希望実現を図る「規律ある進学校」を目指す。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
広報活動	・校外への広報活動 ・開かれた学校づくりの推進	・ホームページ、学校見学会、公開授業の充実	・図書情報部との連携を密にして、ホームページ掲載内容の充実・精選を行う。学校見学会に関しては、部活動の見学に関しての具体的改善策を考える。
P T A活動	・P T A活動の活性化	・P T Aの各行事の充実	・行事ごとのアンケート結果や意見を集約し、職員全体に周知するとともに、結果をP T Aに連絡・公開する。
儀式的行事	・儀式的行事（諸式典）の厳粛な実施	・整った身だしなみ ・進行計画の綿密化と役割分担の徹底	・生徒指導部や学年団とより一層の緊密な連携体制を作るとともに、式典細案の見直しとともに、関係する係との打ち合わせを綿密に行う。
学習指導	家庭学習の充実	・積小テストの効果的活用と授業の予復習の徹底	・積小テストの意義を再度生徒に徹底し、授業と週末課題を関連づけることによって学習効果を高める。
	授業規律の確立	・チャイムと同時に授業を始める態勢作り	・教員1人1人が授業起立を意識し、教室環境の整備を図り、チャイムと同時に授業をはじめめる。
	授業の理解度や満足度の向上と成績不振者の減少	・教科指導力の向上 ・成績不振者に対する学習指導の充実	・教科会で学力を向上させるための教科指導方針を確認し、全教員が一致協力して教科指導を実践する意識をもち、多様な層に対応できる指導を考える。 ・事前のテスト対策などの実施の充実を図り、ねばり強く指導にあたる。
	授業時間数の確保	・1単位につき32時間以上の授業時間数の確保	・最低32時間の授業時間確保に努める。
研究・研修	現職研修や授業研修の充実	・研究授業への参観の呼びかけ	・教科指導力の向上のために、研究授業への参観を積極的に呼びかける。また研究授業実施後の話し合いの充実を図る。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の充実	・課題研究の充実を図る	・生徒の考察力を高めるような課題研究の実施に努める。
基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立について ・高校生らしい端正な身だしなみの徹底及び不要な物品を学校に持ち込まない指導 ・遅刻の防止	・身だしなみ指導の実施 ・身だしなみ指導週間の指導強化 ・不要物品の指導強化	・身だしなみ指導を全職員の協力で根気強く実施する。 ・不要物品指導で、特に携帯電話の指導を全職員の共通理解の上で実施する。
		・遅刻防止指導の徹底 ・遅刻指数の減少 ・遅刻の多い生徒への指導強化	・遅刻指導を実施することで遅刻防止の理解を深め、年間遅刻指数を1.3未満に維持する。
交通安全指導	交通安全指導について ・交通事故防止 ・交通マナーの向上	・交通安全指導の実施	・「0の日」の交通安全指導を計画的に実施する。
		・交通安全における啓発活動の実施	・交通事故を防止するため、交通安全講話や交通ルールやマナーに関する指導を行う。特に傘さし運転や音楽を聴きながら・携帯電話を操作しながらの走行を指導する。
旅行・集団宿泊的行事	学校の特色を生かした魅力ある旅行、集団的行事の実施	・魅力ある行事の検討	・修学旅行やキャンプの実施アンケート結果を考慮し、魅力ある行事の検討を行う。

教育相談 (生徒指導部、保健厚生部)	教育相談の充実	・きめ細かな教育相談の実施	・特別支援教育に関する情報を共有化することにより、素早くきめ細かい教育相談を行っていく。
進路指導	・進路目標の実現 ・キャリア教育の推進 ・主体的に進路を選択する能力や態度の育成	・きめ細かな指導・面談 ・進路情報の積極的利用	・面談等で生徒・保護者の理解に努め、必要な情報を示し、信頼を得て、それぞれが納得する進路実現を目指す。
		・「進路ジャーナル」の充実	・必要な情報を適宜発信し、進路実現の意欲向上に努める。
清掃活動	校内美化の徹底と環境整備	・教室廊下の整理整頓 ・階段やトイレ清掃の強化 ・ゴミの分別の徹底	・簡易清掃日にも最低限の清掃ができるように工夫し教室や廊下階段の美化に努めたい。 ・トイレ使用マナーを改善しトイレの美化に努めるようにする。

		・美化委員による清掃点検の実施	・ゴミ箱設置や表示を確認し、分別しやすい状況を作り出す。 ・点検結果をフィードバックできる体制にする。
健康管理	・生徒の健康管理 ・健康の保持増進	・有疾生徒の把握 ・適切な応急処置 ・保健室来室生徒への指導	・治療勧告生徒への指導を徹底する。 ・保健室来室生徒について担任と情報を共有する。
危機管理 (保健厚生部)	防災教育の推進	・年2回の防災訓練の実施 ・防災用品の点検	・防災訓練などを通して職員や生徒に防災計画の理解を深めさせる。 ・防災用品を整備する。
部活動	部活動の活性化	・部活動への積極的、継続的な参加	・顧問会議、部長会議を通じてより活動しやすい方法について考える。
学校行事 (特別活動部)	学校祭などの生徒会主催学校行事への積極的な参加態度の育成	・学校行事への積極的な参加	・魅力ある学校行事について生徒会執行部に検討させ、多くの生徒が参加できるよう考えさせる。
生徒会活動	生徒会活動の充実	・生徒会執行部を中心とする自主性のある活動	・充実した生徒会活動とは何かを生徒会執行部に考えさせ、それを全生徒に浸透させる。
ボランティア活動	ボランティア活動の啓発	・ボランティア活動への意識の高揚	・ボランティアの意義を生徒に考えさせ、自発的に活動できるよう促す。
図書館活動	図書館利用と読書活動の推進	・広報の充実による継続的読書指導	・新着図書のご案内や時期に応じた話題を掲載し、きめ細かい情報の発信に努める。
視聴覚・情報教育 (図書情報部)	校内の情報化の推進	・利用しやすい環境等の整備	・教室・学習室等でコンピューターや視聴覚機器を利用した授業展開を効率よく行うために、環境の整備に努める。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある授業、徹底した教科指導において、反復練習などを重視し、基礎的・基本的な内容の定着を図り、生徒の進路目標の実現に対応した指導方法を工夫改善する。 ・全教職員が、日常的に生徒の基本的な生活習慣の確立に気を配り、教育愛あふれる指導を展開することにより、礼節を重んじ規律を尊重する学校にする。 ・学校行事をより活性化するとともに、環境美化にも力を入れ、安全・安心で活力ある学校をめざす。 		

(2) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

本年度の 重点目標	規範意識を備えると同時に、学力を向上させ進路希望実現を図る「規律ある進学校」を目指す。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
広報活動	・校外への広報活動 ・開かれた学校づくりの推進	・ホームページ、学校見学会、公開授業の充実	・特別活動部や図書情報部の協力も得て、ホームページの更新箇所を見直し、迅速な更新ができた。他分掌の協力を得て学校見学会、公開授業の質的向上を図れた。
P T A活動	P T A活動の活性化	・P T Aの各行事の充実	・アンケート結果から、満足度の高い行事の企画となってきている。アンケート結果をホームページに迅速に反映させた。
儀式的行事	儀式的行事(諸式典)の 厳粛な実施	・整った身だしなみ ・進行打合せの綿密化と役割分担の徹底	・生徒指導部、学年の協力によって厳粛な式典ができた。 ・行事の内容によって、進行打合せや関係者会議の時間を持って、行事の実施を円滑に行った。
学習指導	家庭学習の充実	・家庭学習時間が1時間未満の生徒の減少	・授業・週末課題・積小テストを関連付けることで、生徒の学習意欲を高めるような工夫を求めめる必要がある。
	授業規律の確立	・チャイムと同時に授業を始める態勢づくり	・授業規律が若干悪化している。これから学力差が拡大していく中で、授業規律の維持が重要になってくる。

学習指導	授業の理解度や満足度の向上と成績不振者の減少	・朝学習の円滑な実施 ・週末課題の実施状況の向上 ・成績不振者に対する学習指導の充実	・朝学習への取り組みについて、追試等に該当する生徒の数が全体的に増加状況にある。積小テストの意義を再度生徒に徹底し、取り組みを向上させる必要がある。 ・成績不振者が増加するなかで、安易に妥協することなく、学力の十分な補充となる学習指導を検討する必要がある。
------	------------------------	--	---

	授業時間数の確保	・1単位につき32時間以上の授業時間数の確保	・今後とも最低32時間の授業時間確保に努める。
研究・研修	現職研修や授業研修の充実	・研究授業への参観者の増加	・研究授業への出席者が限られている現状を改善し、教職員が研修に努め、教科指導力や生徒指導力等の向上を図る必要がある。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の充実	・各単元の内容の改善や充実と指導方法の蓄積	・課題研究の内容を精査し、研究の充実を図る必要がある。
基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立について ・高校生らしい端正な身だしなみの徹底及び不要な物品を学校に持ち込まない指導 ・遅刻の防止	・身だしなみ指導の実施 ・身だしなみ指導週間の指導強化 ・不要物品の指導強化 ・遅刻防止指導の徹底 ・遅刻指数の減少 ・遅刻の多い生徒への指導強化	・身だしなみ指導を全職員の協力で実施することができたが、生徒の意識はまだ低い。根気強く指導する必要がある。 ・携帯電話の指導を全職員の共通理解の上で実施することができた。 ・遅刻者数が前年度より増加した。遅刻回数の多い生徒については、早朝登校指導の徹底、年10回を越える生徒の保護者召還の実施によって、遅刻をしない生活習慣を確立させる。
交通安全指導	交通安全指導について ・交通事故防止 ・交通マナーの向上	・交通安全指導の実施 ・交通安全における啓発活動の実施	・「0の日」の交通安全指導を計画的に実施することができた。 ・交通事故を防止するため、交通安全講話や交通ルールやマナーに関する指導を行った。登下校のルールやマナーについては、今後も粘り強い指導が必要である。
旅行・集団宿泊的行事	学校の特色を生かした魅力ある旅行、集団的行事の実施	・魅力ある行事の検討	・北海道修学旅行の実施アンケート結果は大変良好であり、魅力ある校外学習となっている。また、スプリングキャンプの日程については、今後も現行の2泊3日で実施していく。
教育相談 (生徒指導部、保健厚生部)	教育相談の充実	・きめ細かな教育相談の実施	・特別支援教育に関する情報を共有化することや伝達講習会を開催することにより、素早くきめ細かい教育相談を行っていくことができた。教育相談委員会で困っている生徒の報告、連絡、相談ができた。
進路指導	・進路目標の設定 ・キャリア教育の推進	・進路相談や面接指導の充実 ・進路情報の速やかな分析・発信	・担任や進路指導部への相談が適宜実施され、担任団と情報が共有できた。模試の返却などを通じて、面談を補うことができた。相談や面談ではキャリア教育を意識した指導を行った。 ・模試やセンター試験の結果などを速やかに部会で分析し、校務委員会・教科主任会・職員会議に分析コメントとともに発信できた。「進路ジャーナル」等の生徒向け情報も適宜発行できた。
清掃活動	校内美化の徹底と環境整備	・教室廊下の整理整頓 ・階段やトイレ清掃の強化 ・ゴミの分別の徹底 ・美化委員による清掃点検の実施	・少しではあるが簡易清掃日の清掃活動の充実に努めることができた。使用マナーを改善しトイレの美化に努めたい。 ・分別状況はよくなってきているがより徹底させたい。 ・点検結果をフィードバックさせる。
健康管理	・生徒の健康管理 ・健康の保持増進	・有疾生徒の把握 ・適切な応急処置 ・保健室来室生徒への指導	・治療勧告生徒への指導を徹底することができた。 ・保健室来室生徒について、担任と情報を共有することができた。
危機管理 (保健厚生部)	防災教育の推進	・年2回の防災訓練の実施 ・防災用品の点検	・生徒や職員に防災マニュアルを通して理解を深めることができた。 ・徐々にではあるが防災用品を点検整備することができた。
部活動	部活動の活性化	・部活動への積極的、継続的な参加	・1月現在、1、2年生の83.3パーセントが実活動しており、全体的によく取り組んでいる。
学校行事 (特別活動部)	学校祭などの生徒会主催学校行事への積極的な参加態度の育成	・学校行事への積極的な参加	・牧南祭、スポーツ大会などのアンケートでは積極的な参加に高い数字が示されている。
生徒会活動	生徒会活動の充実	・生徒会執行部を中心とする自主性のある活動	・生徒会の生徒から福祉施設の訪問などいろいろなアイデアが出され、自主的な活動がなされた。

ボランティア活動	ボランティア活動の啓発	・ボランティア活動への意識の高揚	・花塚橋花壇の整備を1年、2年の各クラスに割り振り、学校全体で取り組む体勢ができた。
図書館活動	図書館利用と読書活動の推進	・広報の充実、図書館レイアウトの工夫による継続的読書指導	・新着図書やお薦めの図書などの紹介を行い、読書指導を行った。
視聴覚・情報教育 (図書情報部)	校内の情報化の推進	・利用しやすい環境等の整備	・来年度以降、教室棟に視聴覚教材保管場所を設置することを検討し、利用の推進を図っていく。
総合評価	重点目標の達成のために学校全体として取り組むことができた。その結果、各目標の達成度は概ね満足できるものであった。また、今まで十分な取り組みにならなかった「避難訓練」については、生徒の取り組みは向上した。		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある授業、徹底した教科指導において、反復練習などを重視し、基礎的・基本的な内容の定着を図り、生徒の進路目標の実現に対応した指導方法を工夫改善する。 ・全教職員が、日常的に生徒の基本的な生活習慣の確立に気を配り、教育愛あふれる指導を展開することにより、礼節を重んじ規律を尊重する学校にする。 ・学校行事をより活性化するとともに、環境美化にも力を入れ、安全・安心で活力ある学校をめざす。
自己評価の結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の満足度は概ね高く、学校生活への満足度は高い。 ・学習への取り組みについて、1・2年生でやや低下している現状がある。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信の頻度を高めるための方策を考える必要がある。 ・学力が低下する中でも授業規律を保ち、生徒の学力を伸ばす手段を今後とも検討していく必要がある。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生保護者への情報発信の方法として、学校見学会に保護者の参加を積極的に促す必要がある。 ・在校生の高校生活への満足度が高い現状を積極的に活用するためにも、HP上で在校生の声を発信することを考えてはどうか。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成…5名（学校評議員及びPTA会長） ・評価時期…12月中旬